

作業工程	作業の順序	危険・有害要因 (予想される災害)	重大性	頻度	評価点	評価	危険・有害要因の防止対策	(注)誰が
木工事 (本体作業)	木工事材料 搬入荷卸	建設用リフトの運転は特別教育修了者しか出来ない	5	5	25	●	指名有資格者による運転	職長
		玉掛けは技能講習修了者(1t以上)特別教育終了者(1t未満)の資格必要	5	1	5	●	指名有資格者による玉掛け	職長
		搬入時取り外した手すり等をそのままにしておく、他業者が、ケガをする。	5	2	10	●	搬入完了後、速やかに復旧する。又職長は、必ず復旧を確認するよう指導周知する。	
		運搬中、通路の凹凸でつまづく	5	5	25	●●●●	安全通路の不要材を片付け通路確保して、足元を確認しながら、運搬する。	作業員
		リフトの荷台部分や、出入口の頭上より物が落ちてくる。	5	2	10	●	防護のある運転席に作業員は乗る 出入口部の落下防止養生設備のある所を使用する	作業員
		運搬時近道しようとして通行禁止区域や、立ち入り禁止場所への立ち入りは危ない	5	3	15	●●	通行・立ち入り禁止場所へは立ち入らない様に指導周知を徹底する。	作業員
		自分の力量に応じて物を運搬しないと腰を痛めたりふらつく。	5	2	10	●	自分の力量以上の物の運搬をしないように指導周知を徹底する	作業員
		運搬時現場内で小走りに走ると転倒の恐れがある。	3	2	6	●	運搬時現場内で小走りに走らない様に指導周知を徹底する	作業員
		トラックとリフトの渡り通路は十分な広さが無いと転落の恐れがある	5	2	10	●	トラックとリフトの渡り通路は鋼製布板・杉製足場板でW=400以上にて使用する	作業員
		トラックとリフトの渡り通路はしっかり固定しないと転落の恐れがある	5	2	10	●	トラックとリフトの渡り通路は鋼製布板・杉製足場板で端部をしっかりと固定してつれない様にして使用する	作業員
	木工事材料(間柱・ホード他)は番木の上に水平・平行に置かないと指をつめる。	5	1	5	●	木工事材料(間柱・ホード他)は番木の上に水平・平行に置き、取り出し時指詰しない様に十分な隙間を確保する。	作業員	
	搬入材の数量・形状・傷等の確認							
	電動工具(丸ノコ)エアー工具(釘打機他)の点検	安全装置の不具合及び工具の不具合があると思わぬケガをする。	5	5	25	●●●●	電動工具・エアー工具の始業前点検を実施して使用する。不具合があれば、修理完了するまで使用しない。	作業員
	脚立の点検	開き止めや脚立に不具合があると転落やケガをする	5	5	25	●●●●	脚立の始業前点検を実施して使用する不具合あれば使用せず廃棄する	
	施工図による間仕切り他墨出し各有効寸法の確認	天井部墨出し時、脚立上で無理な姿勢で、墨出しすると、転落する。	5	5	25	●●●●	脚立使用時、その都度移動して、無理な姿勢では、作業しない様周知徹底する。	作業員
	木工事材料小運搬	運搬中、通路の凹凸でつまづく	5	5	25	●●●●	安全通路の不要材を片付け通路確保して、足元を確認しながら、運搬する。	作業員
		運搬時近道しようとして通行禁止区域や、立ち入り禁止場所への立ち入りは危ない	5	3	15	●●	通行・立ち入り禁止場所へは立ち入らない様に指導周知を徹底する。	作業員
	木工事 造作材 切断・加工・組立	切断・加工時電動工具(丸鋸・卓上型丸鋸他)によりケガをする	5	5	25	●●●●	切断時は、材料をしっかりと固定し安定した場所で切断する。	作業員
		卓上型丸ノコを使用して切断時、ノコズルが、目に入り、目を痛める。	4	5	20	●●●●	保護メガネ、マスクを着用する洋に周知徹底する。	作業員
		組立時締め付け用ビスで指を突きケガをする	3	5	15	●●	締め付け用電動ドリル使用時は手元に注意して使用する	作業員
		組立仮置き時倒れてきて、体に当たる	2	5	10	●	倒れて来ない様に、きちんと整理整頓して仮置きする。	作業員
	<b>* 卓上丸ノコによる材料切断作業時は以下の手順を確認して作業に当る</b>							
	切断材料を卓上丸ノコに仮セットする							
	切断位置を決める	誤ってスイッチに触れると: 卓上丸ノコにスイッチが入り丸ノコの刃が回転し思わぬケガの原因となる	5	1	5	●	切断位置を決める時:スイッチの位置をよく確認しスイッチに触れない所でハンドルを握り、切断位置を決める様指導周知する	作業員
	卓上丸ノコによる材料切断 (加工専門)	高い加工精度が求められる: 材料の形状本数により必要に応じて材料を定規(万力)に固定する						
	卓上丸ノコによる材料切断 (一般大工)	精度を余り要求されない加工切断 (壁天井木下地用間柱材、ベニヤ類、枕棚前枠 雑巾摺り 廻り縁類)						
		材料を固定している手: 卓上丸ノコの刃に近付けない様、手を丸ノコ刃から十分に離して巻き込まれない様慎重に使用する事						
		旧型卓上丸ノコ: 旧型はガイドと卓上丸ノコ刃の隙間が約3cm~5cm程度と広がっています。 切断材が回転し持ち手が丸ノコ刃と接触する危険があるのでガイドに当て木を設置する						
		短い材料の切断禁止: 卓上丸ノコのベース巾より短い材料は丸のこ刃と安全な距離が十分確保出来ないで切断をしない。						

作業工程	作業の順序	危険・有害要因 (予想される災害)	重大性	頻度	評価点	評価	危険・有害要因の防止対策	(注) 誰が
木工事 (本体作業)		万力の使用: 卓上丸ノコのベース巾より短い材料は、丸のこ刃と安全な距離が十分確保出来ないので卓上丸ノコのベース巾より短い材料を切断する場合は安全確保の為、万力を使用する						
		卓上丸ノコ使用中: セーフティバー(保護カバー)は、絶対に固定しない 又、円滑に動く事を確認して慎重に使用する						
		長物材切断時: 材料の重みでノコ刃が挟みつけられない様に、必要な時には、切断する材料の受け台を設ける						
		使用中は、ノコ刃や回転部及び切り屑の排出部へ手や顔などを近づけない						
		回転物に巻き込まれる恐れがあるので、軍手の着用はしない						
		スイッチを入れノコ刃の回転が完全に上がって安定してから、ハンドルを静かに下げて材料に近付ける						
		ノコ刃が材料に接したらハンドルを徐々に押し下げて切り込む						
		1回の切断又は切り込みが終わる毎に、スイッチを切ってノコ刃の停止を確認し、ターンテーブル上面から必ず切り落とした材料を取り除いてから、つぎの段取りをする						
		切断が終わったところでスイッチを切り、ノコ刃が完全に停止してからハンドルを持ち上げる						
		卓上丸ノコ使用中: 一人作業では、繰り返し作業や作業に没頭しすぎると慣れによる集中力の低下が起こり易いので注意換気する						
	間仕切組立(木軸)		頭つなぎ施工時、脚立を不安定な姿勢で使用すると、転落する。脚立から降りる時に周囲が片付いていないと、思わぬケガをする	5	5	25	●●●	脚立使用時、その都度移動して、無理な姿勢では、作業しない様周知徹底する。作業場所は常に片付けて作業し易い様に周知徹底する。
		釘打機使用時、左手を近づけすぎて、使用すると、指をケガする	4	5	20	●●	釘打機使用時、左手は十分に離して使用するよう周知徹底する。	作業員
		釘打機使用時、保護カバーを着用しないと、ロール釘の針金が、目に入る。	5	5	25	●●●	釘打機使用時、保護カバーを着用するように、周知徹底する。	作業員
		釘打機使用時、電工等人が近づきすぎると釘が、突き抜けたとき体に当たり、ケガする	5	5	25	●●●	釘打機使用時、電工他人が、近くにいない事を確認して使用するよう周知徹底する。	作業員
建具枠取付	建具枠取り付け時、釘で指を突きケガをする	1	5	5	●	建具枠取付時釘打機使用に際して手元に注意し無理な姿勢で、使用しない。	作業員	
カウンター・固定棚・先付け家具取付	カウンター・固定棚・先付け家具取付付け時、釘で指を突きケガをする	1	5	5	●	取付時釘打機使用に際して手元に注意し無理な姿勢で、使用しない。	作業員	
壁 石膏ボード張り (各下地取付共)		石膏ボード切断時、タッカーナイフにて、指をケガする。	2	5	10	●	ボード切断時、アルミ製定規を出るだけ使用し力の入れ具合に注意して、安定した作業台上で使用する。	作業員
		石膏ボード張り時、タッカーにて、指をケガする	2	5	10	●	タッカー使用時、左手は十分に離して上から下の順で使用するよう周知徹底する。	作業員
押入れ・クローゼット他造作材取付	エアガン(フィッシュネイル)使用時玉切れに気づかず、手から造作材を、離すと落下して体に当たる。	1	5	5	●	確実に取り付いている事を確認して、手を離す様注意喚起し、周知徹底する。	作業員	

